

桐鈴凛々

第114号
平成29年7月15日発行
発行責任者
社会福祉法人 桐鈴会
理事長 黒岩秩子
南魚沼市浦佐 5142-1
電話 025-780-4118
FAX 025-777-3731
e-mail
info@toureikai.com
<http://www.toureikai.com/>

ぷれジョブ in 魚沼が始まりました



「ぷれジョブ」は、西幸代さんが倉敷で10年以上前に始められた取り組みです。ここでは、去年の9月に総合支援学校を会場に集まりを始めたのが、月1で大人が相談していたのが、今年2月から、子どもたちも参加するようになりました。障がいを持った子どもがジョブ（仕事）をするのに、ボランティアがついて、週に1時間事業所に行つてジョブをする。という形で、地域を温かな糸でつないでいく、という構想です。3人のお母さんに報告を書いていただきました。（黒岩）



加藤百恵さん（左）と長尾幸さん（右）工房とんとのパンを販売

桐鈴会の理念

・終のすみかを目指す
・「迷惑をかけ合える関係」を目指す
・高齢者、しようがいしや、子どもたちが
安心して住める地域を創ろう



★長尾玲子（南魚沼総合支援学校中1幸の母）

4月ある日のこと。娘にとって初めてのぷれジョブ体験の日。イベントに出店中の「工房とん」とん」のお店の手伝いをさせていただくことになりました。親子でとても緊張して出かけていくと、テントの中では、金太郎君と昌未君が作業をしていました、金太郎君は、パンを袋に入

を金庫に入れたりしていました。親の心配をよそに、子どもはしっかり成長していることを感じ取ることができました。娘のその姿を見ていた百恵さんもうつものようにエンジンがかかり、二人とも生き生きと仕事をしていました。お昼時ということもあり、お客もたくさん来ていただき、笑顔でほめていただき、子どもも親もとても励みになりました。

れ、お客様に「ありがとうございます。またよろしくお願ひします」とすばらしい対応。昌未君は昌未君にしかできない素敵なお仕事をしていました。

障がいのあることを隠す。以前は私自身もそうでした。でも何かあった時のことを考えると、娘のことを知ってもらわなければならないことを、ぷれジョブの西先生に教えていただきました。

その後2人は、百恵さんと娘に交代しました。初めは恥ずかしがっていた百恵さんに対して娘は積極的に楽しそうにパンを袋に入れたり、受け取ったお金

初ぷれジョブから数日たったある日、家族で買い物に行った時のこと。「この間のパンの売り子さんだね。おいしかったよ」

と声をかけてくださった方がありました。ありがたいことです。今は、ふれジョブを通して、地域の方々と出会い、顔を覚えてもらい、子どもたちの世界が広がっていくことに幸せを感じています。

これからどんな花が開いていくのか、見守っていつてくださいな。

★後藤起見（小出小5金太郎の母ゆきみ）

今年4〜6月に、野外イベントで「工房とんとん」さんのパンの出張販売を2回と、図書館でのコンサート会場準備に関するお仕事を1回体験しました。

パンの販売はお仕事体験をする子ども（チャレンジド）が2名。1名はパン屋さんの宣伝を、息子は主に接客を行いました。前半は躊躇せずに、はりきって「いらっしやいませ〜」と声かけしたり、袋詰めをしたりと、お店の方やサポーターの方に教えていただきながら楽しんで、できました。一緒に来ていた小

学校2年生の弟も、お店に入り、一緒に活動しました。後半になると、お腹が空いたせい集中力が続きませんでした。1時間ほどのお仕事体験です。そこまですり隙が悪くならず終えることができませんでした。お仕事の後は、泣いてしまうこともありましたが、お昼ご飯を食べたり、帰宅したりしてしばらくすると「パンを売ったね」「○○さんとふれジョブしたね」と体験についてポジティブな印象を語っていました。弟も、「ふれジョブは楽しいね。これからも見守るよ」と頼もしい発言をしていました。

図書館のイベントでは、控室の机や会場の椅子の雑巾がけをしました。チャレンジドの子どもたち（6名）と一緒に活動ができて楽しかったようです。周りのボランティアの方々に褒められて、はりきって拭いていました。後半は疲れてしまい、準備後のコンサートでは眠ってしまいました。帰宅後には「図書館でお掃除したね」「今度も○○さん来るかな？」と嬉しそうに話しておりました。

まだ定期的な活動には至らず、これからのように活動をしていくことが子どもにとって良いのか模索中ですが、無理のない範囲で長く活動を続けることで、地域に馴染み、地域の方々も息子がいることに慣れていただけるよう見守っていききたいと思えます。



後藤金太郎さん（右）と弟さん

★安田恵子（小出支援学校中2 昌未の母）

ふれジョブ創始者の西幸代先生から「障がいの重いお子さ

んほどふれジョブをやってほしい。人にものを考えさせるジョブということができるので」というお話を聞いて、医療的ケアの必要な重い障がいの息子にも、やらせてみたいと思いました。

息子の昌未は4月から、3回ほど工房とんとんのパンの出張販売のお手伝いをさせてもらいました。バギーに座り「焼きたてのパン・工房とんとん」と書かれた印刷物をバギーの前面に貼り付け、宣伝のお仕事をしました。パンを買いに来るお客様は、工房とんとんには障がいがある人たちがいることを知っている人が多いようで、昌未にも「こんにちは」と声を掛けてくれる人が多かったです。

「ふれジョブ」を始めてみて感じたことは、障がいのある子どもがお仕事をする姿は、周りを温かい雰囲気させてくれることでした。そして、子ども達もだんだんお仕事に慣れてきて、継続すれば、出来ることが増えていくと思えました。

これからの課題として、参加してくれる企業などを増やすこ

と。サポーターさんも探さなければなりません。子ども達のためにも、少しずつ進めていきたいと思えます。この地域にふれジョブの輪が大きく広がることを夢見て！



安田昌未さん

退居のごあいさつ
ケアハウス鈴懸の思
い出

村山ヨシエ



8年前にケアハウス鈴懸に入居させていただきました。

初めて十日町市から離れ、右も左もわからず、心細かったですが、安心して眠れたし、おいしい食事を頂けるので、ありがたかったです。

雪のない時の朝の散歩は、とりの八色の森公園へ。時々理事長さん夫妻にお逢いすることもありました。玄関が開くのを待たずに出かけてしまい、ご迷惑をおかけした事もありました。朝の散歩が面倒になり、次第に出かけなくなると、鈴懸の廊下を歩く程度になってしまいました。



右から2番目が村山ヨシエさん

川柳の会やカラオケに誘ってもらい、声も出ないのに楽しく続けることができました。3月に亡くなられた井口末作さんからは、新聞に入ってくるテレ

ビの番組欄をもらっていました。お陰様で番組を選んで見る事ができました。

年を取るにつれ、生まれ育った十日町に帰りたくなり、娘から十日町の施設に申込をしてもらいました。急に順番が来たと言われ、あれよあれよという間に引越しになりました。その時は、丁度お昼の時間と重なり、大勢の皆様から見送っていただきました。

ありがとうございます。厚くお礼申し上げます。皆様もお元気でいて下さい。

新入居者紹介
はじめまして
ケアハウス鈴懸

高野 義郎



私が鈴懸さんを知ったのは次女が五日町の病院勤務をしていたためで、みんな娘が世話をしてくれました。

一人で住んでいると話もすることがないので、頭の方がダメになるのではないかと言う事がよいと勧められました。

待機者が多いため、入居が何年先になるかわからないような事を言われましたが、運よく早く決まり、お世話になることとなりました。

今まで住んでいた家は、大変大きな家で、冬はとても寒く、灯油が1カ月2万9千円も掛かり大変でした。

家内が昨年の12月に病院生活で亡くなり、大変悲しい思いもしました。

看護師の中には意地の悪い看護師がいて、家内も大変だったと思います。

私は鈴懸さんに来て一番思った事は、皆様がとても親切である事が、とても嬉しく思いました。

笑顔であることは元気をもらう事。



今迄は、気ままに生きて来たので、生活にきまりのある事は身体のために大変よろしいかと思えます。

何年生きるかわかりませんが、一生鈴懸さんでお世話になりますので、よろしくお願ひします。

100歳でまた若返るね、フサさん

桐鈴会顧問 黒岩卓夫



井口フサさん、満100歳おめでとうございます。大正6年5月18日生まれ。

6月23日午後、看護師と二人で訪問診療にケアハウス鈴懸2階のフサさんのお部屋を訪問した。100歳になって1ヶ月たつたのだが、いつもと同じように私たちが「こんにちは」と言つて部屋に入つていくとゴロツと起き上がり、私たち一行をに

こにこ顔で迎えてくれた。

「井口さん、100歳になつてどんな気分ですか」。すぐに返事はなかったが、ちよつと間をおいて「80歳までは長生きできると思つていただけ、その後はポオ―としていたのう」。看護師が「あーら、だからのんびりと100歳までなつたんですか」。さらに「フサさん、あとのぐらいい元氣だろうか」「あと2年は大丈夫だと思ふ。今すぐに死ぬとも思へねえの」と明快に答えてくれる。



黒岩医師から花束を贈られた井口フサさん

鈴懸相談員の関奈々子さんも面白そうにこにこ聞いていたが、だんだん場は盛り上がつてきた。「それじゃあフサさん、今会いたい人いる?」「いない」「どこか行つてみたいところある?」「ないなあ」という。

そこで質問の向きを変えて「あの世に行つたら一番会いたい人は?」「これもしばらく目をつぶつて考えていたが「母親かなー」という。「本当にお母さんと会いたいの?」「帰つてきて母親がいないととても寂しかったことを覚えてる」と、遠くを見つめるような表情で語つてくれた。やつぱりお母さんなんだなとほつと安心した。人はみな最後に帰つていくところは母の胸なんだな。では、という気持ちで、「フサさん、父ちゃん(夫)にも会いたいでしょ?」と聞くと「父ちゃんには会いたくねえの」とはつきり答えた。皆少し黙つてしまった。

話題を変えて、「若いころはいいことあつたでしょう?」と持つていくと、「若いころは黙つていてしゃべらなかつたよ」という。「美人の女が黙つているって、

魅力あつたと思うけど」「でも色は黒かつたよ」そこで、一歩後方に控えていた奈々子さんを振り返りながら、「奈々子さんどどつちが美人だった?」と聞くとどつさに「そらあおれの方が美人だった」と。みなどつと笑つて、部屋中が揺れるほどだった。奈々子さんは、恥ずかしそうに、でも楽しげに大笑い。看護師がからかつて「フサさん、取り消しておかなくていい?」というのと「そうなの」とは言わなかつた。そこでまたみんな楽しく笑つて集団インタビューは終わった。

ひところはフサさん、少し調子を崩したこともあつたけど、100歳になつて、それはウソみたくいになつてしまった。いやいや生命力は凄いな、と感服のひと時だった。



スプリングセレモニー in
南魚沼総合支援学校

理事長 黒岩秩子

5月14日の午後、障がいを持つ方々の成人式が南魚沼総合支援学校で行われました。とても大勢の参加者でした。新成人は、10数名。女性たちはほとんどが着物姿。男性たちも洋服といった感じ。新成人たちにインタビュー、それに応えて、新成人たちは、夢は「京都、大阪、東京、神奈川に行きたい」「外国旅行がしたい」などなど。そしてそれぞれが、今している仕事を紹介しました。

本当は障がいがあってもなくてもみんなが一緒に成人式を迎えられるのが理想ですが、この温かな雰囲気大きな成人式で、どうやって、演出することができているのか？これがこれからの課題です。市長、市議会議員、教育長、その他市の幹部がそろって参加していたので、これからどんな風にして、成人式をやっていくのか、根本のところ問われています。

工房とんとの利用者、飯塚康介さんと小沢育美さんが、晴れ姿で参加しました。



飯塚康介さん

小沢育美さん

大石亜矢子・大胡田誠
トーク&コンサート



6月11日(日)の午後、南魚沼市図書館3周年記念行事が図書館で行われました。閲覧室をコンサート会場に変身させたのは、総合支援学校の生徒さんや保護者、ふれジョブのメンバーなどのボランティア。

200人からの皆さんが涙ながらに聴いてくださいました。

翌日は、六日町中学と塩沢中学でも聴いていただきました。

(文責 黒岩秩子)

感想

ケアハウス鈴懸

岡田 としい

「今日は本当にいいコンサートに誘ってくれてありがとう」と友に言われた。

帰り道、友と私の心は何となく

くあったかいい感じがした。全盲の夫婦、大胡田さんと大石さんの「トーク&コンサート」に参加した。

私は大石さんの歌が好きだ。メロディと詩が同時に素直に心に入ってくる。

当日歌った「地球のダイヤモンド」も素晴らしい。

トークに魅かれ、メロディに魅かれ、何度も目頭が熱くなった。

感動のコンサートに何度も参加したい気持ちになった。



図書館閲覧室での大石大胡田トーク&コンサート

バラ園見学
グループホーム桐の花
介護員 駒形陽子



6月6日、16名で高野バラ園に見学に行つて来ました。天気にも恵まれ絶好のお出かけ日になりました。到着するとすぐにお茶タイムです。用意して頂いた抹茶ムースには庭の取れたてミントとお花が飾られています。その後庭園を一周、樹齢400年という大きな杉の木を見てびつくり仰天。バラは少し早めでしたが、咲きほこっている花をじっくり観賞。「きれいだね。豪華だね。」と声があがっていました。1時間ばかりの滞在でしたが、美しいバラを見て、おいしい空気を吸って、利用者さんたちは大変喜んでました。



バラのアーチの前で



新入職員紹介

～はじめまして よろしくお願ひします

ケアハウス鈴懸

介護職員 駒井富美子



6月からケアハウス鈴懸にお世話になっています。介護の仕事は初めてでしたが、入居者の皆さんや職員の皆さんに温かく迎え入れていただき、とてもありがたく思います。入居者さんや利用者さんに「ありがとう」と言ってもらった時は、すごくうれしく、元気をもらいます。これからも早く仕事を覚えるように頑張りたいと思います。



平成28年度 寄付者、ボランティアの皆さま



ご支援ご協力ありがとうございました。

○ご寄附いただいた皆様
(寄付順・敬称略)

- 黒岩 秩子
- 南魚沼障害者福祉後援会
- 桐鈴会后援会
- (株) コーラルヘルスケア
- 森山 里子

○ボランティアの皆様
(五十音順・敬称略)

- 飯塚千絵さん一家
- イオン六日町
- 石田摩耶
- 糸山和子
- 今成春子
- 榎本宏
- 大網悦子
- 岡部冬美

- 小尾アキ
- 駒形舞子
- 関勝造さん一家
- 関かな子
- 関ナツ子
- 関ハツエ
- 高野バラ園
- 高橋芳恵
- 戸田聡
- 行方ヒロ
- 行方弘子
- 羽賀悦子
- 広田セツ子
- 宮崎ナツ子





「地域医療研究会」全国集会 in 魚沼のお知らせ

地域医療研究会は、2年に1回全国集会を開いてきました。1回目は40年前に浦佐で行われたのでした。そして再び南魚沼市へ帰ってきました。

日時 9月16日(土)～9月18日(月)
会場 南魚沼市民会館

※9月18日は公開講座です。すべての人がこの地で穏やかに幸せに生きていくためのヒントがいっぱいのお話ばかりです。是非ご参加下さい。

記

9月18日(月) 大会最終日

9:00～10:30 シンポジウム「障がい者を真ん中におく地域づくり」

シンポジスト 横尾 浩(南魚沼市立総合支援学校長)
西 幸代(ふれジョブ創始者)
寺口こずえ(工房とんとん利用者) 塩沢在住
座長 黒岩秩子(桐鈴会理事長)

10:45～11:45 講演会「いのちのバトンタッチ」

演者 青木新門(作家)
座長 鎌田 實(医師、作家)



梅雨の時期、毎日ジメジメして嫌なものです。

梅雨が明けるとむし暑い毎日。そういえば私事なんですが、7年前だったか、梅雨明けに帽子をかぶらずに町内の草刈りをしていて熱中症になったことがあります。

水シャワーをしても、アイスを首や頭にしても熱が下がらず、どうしようかと思いましたが。結局アイスノンを枕に2時間位寝ていたら何となく熱が下がって楽になりました。

起きたらちようど電話が鳴って、「これから慰労会、来るか?」「はい、行きまゝす」。ビールを飲んだら完璧に治りました。この時期になると思いますが。

ケアハウス鈴懸

石田 洋一郎

編集後記



平成28年度 社会福祉法人桐鈴会 決算状況

資金収支計算書

(自) 平成28年4月1日 (至) 平成29年3月31日

事業活動計算書

(自) 平成28年4月1日 (至) 平成29年3月31日

(単位：円)

(単位：円)

勘定科目	予算 (A)	決算 (B)	差異 (A)-(B)
事業活動による収支			
収入			
介護保険事業収入	68,176,000	68,318,597	△ 142,597
老人福祉事業収入	59,322,000	59,369,569	△ 47,569
就労支援事業収入	13,496,000	13,334,719	161,281
障害福祉サービス事業収入	91,630,650	91,687,544	△ 56,894
ショートステイ事業収入	1,045,000	1,045,300	△ 300
その他の事業収入	1,557,000	1,557,000	0
経常経費寄附金収入	300,000	300,000	0
受取利息配当金収入	803	815	△ 12
その他の収入	4,640,080	4,646,553	△ 6,473
事業活動収入計 (1)	240,167,533	240,260,097	△ 92,564
支出			
人件費支出	150,924,032	150,770,348	153,684
事業費支出	35,850,917	35,329,722	521,195
事務費支出	23,483,120	22,727,669	755,451
就労支援事業支出	12,799,500	12,703,612	95,888
支払利息支出	357,783	357,482	301
その他の支出	3,508,000	3,472,084	35,916
事業活動支出計 (2)	226,923,352	225,360,917	1,562,435
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	13,244,181	14,899,180	△ 1,654,999
設備整備等による収支			
収入			
施設整備等補助金収入	105,000	105,000	0
施設整備等寄附金収入	3,200,000	3,200,000	0
設備整備等収入計 (4)	3,305,000	3,305,000	0
支出			
設備資金借入金元金償還支出	11,292,000	11,292,000	0
固定資産取得支出	2,043,200	2,043,200	0
設備整備等支出計 (5)	13,335,200	13,335,200	0
施設整備等資金収支差額 (6)=(4)-(5)	△ 10,030,200	△ 10,030,200	0
その他の活動による収支			
収入			
投資有価証券売却収入	100,000	100,000	0
積立資産取崩収入	962,500	962,500	0
拠点区分間繰入金収入	6,000,000	0	6,000,000
その他の活動収入計 (7)	7,062,500	1,062,500	6,000,000
支出			
投資有価証券取得支出	100,000	100,000	0
積立資産支出	350,000	350,000	0
拠点区分間繰入金支出	6,000,000	0	6,000,000
その他の活動支出計 (8)	6,450,000	450,000	6,000,000
その他の活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)	612,500	612,500	0
予備費支出 (10)	0	—	0
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)	3,826,481	5,481,480	△ 1,654,999
前期末支払資金残高 (12)	50,460,050	50,404,190	55,860
当期末支払資金残高 (11)+(12)	54,286,531	55,885,670	△ 1,599,139

勘定科目	当年度決算	前年度決算	増減
サービス活動増減の部			
収益			
介護保険事業収益	68,318,597	70,001,790	△ 1,683,193
老人福祉事業収益	59,772,069	60,071,823	△ 299,754
就労支援事業収益	13,334,719	12,901,329	433,390
障害福祉サービス事業収益	91,687,544	77,753,725	13,933,819
ショートステイ事業収益	1,045,300	1,267,110	△ 221,810
その他の事業収益	1,557,000	0	1,557,000
経常経費寄附金収益	300,000	1,422,277	△ 1,122,277
サービス活動収益計 (1)	236,015,229	223,418,054	12,597,175
費用			
人件費	150,770,348	138,586,481	12,183,867
事業費	34,801,074	33,786,064	1,015,010
事務費	22,813,769	19,163,287	3,650,482
就労支援事業費用	13,187,457	13,690,279	△ 502,822
減価償却費	31,640,072	31,602,296	37,776
国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 17,933,549	△ 18,204,448	270,899
サービス活動費用計 (2)	235,279,171	218,623,959	16,655,212
サービス活動増減差額 (3)=(1)-(2)	736,058	4,794,095	△ 4,058,037
収益			
受取利息配当金収益	815	11,538	△ 10,723
その他のサービス活動外収益	4,646,553	4,977,870	△ 331,317
サービス活動外収益計 (4)	4,647,368	4,989,408	△ 342,040
費用			
支払利息	357,482	445,168	△ 87,686
その他のサービス活動外費用	3,472,084	3,194,249	277,835
サービス活動外費用計 (5)	3,829,566	3,639,417	190,149
サービス活動外増減差額 (6)=(4)-(5)	817,802	1,349,991	△ 532,189
経常増減差額 (7)=(3)+(6)	1,553,860	6,144,086	△ 4,590,226
特別増減の部			
収益			
施設整備等補助金収益	105,000	106,240	△ 1,240
施設整備等寄附金収益	3,200,000	0	3,200,000
特別収益計 (8)	3,305,000	106,240	3,198,760
費用			
基本金組入額	3,100,000	0	3,100,000
国庫補助金等特別積立金積立額	105,000	106,240	△ 1,240
特別費用計 (9)	3,205,000	106,240	3,098,760
特別増減差額 (10)=(8)-(9)	100,000	0	100,000
当期活動増減差額 (11)=(7)+(10)	1,653,860	6,144,086	△ 4,490,226
繰越活動増減差額の部			
前期繰越活動増減差額 (12)	86,304,950	80,060,864	6,244,086
当期繰越活動増減差額 (13)=(11)+(12)	87,958,810	86,204,950	1,753,860
基本金取崩額 (14)	0	0	0
その他の積立金取崩額 (15)	0	100,000	△ 100,000
その他の積立金積立額 (16)	350,000	0	350,000
次期繰越活動増減差額 (17)=(13)+(14)+(15)-(16)	87,608,810	86,304,950	1,303,860

貸借対照表

(自) 平成28年4月1日 (至) 平成29年3月31日

(単位：円)

	当年度末	前年度末	増減
資産の部			
流動資産	67,158,249	64,264,532	2,893,717
固定資産	458,886,909	490,569,836	△ 31,682,927
(基本財産)	418,703,964	443,472,438	△ 24,768,474
(その他の固定資産)	40,182,945	47,097,398	△ 6,914,453
資産の部合計	526,045,158	554,834,368	△ 28,789,210
負債の部			
流動負債	18,914,259	20,510,022	△ 1,595,763
固定負債	61,365,500	74,612,000	△ 13,246,500
負債の部合計	80,279,759	95,122,022	△ 14,842,263
純資産の部			
基本金	161,359,500	158,259,500	3,100,000
国庫補助金等積立金	190,694,589	209,395,396	△ 18,700,807
その他の積立金	6,102,500	5,752,500	350,000
次期繰越活動増減差額	87,608,810	86,304,950	1,303,860
(うち当期活動増減差額)	1,653,860	6,144,086	△ 4,490,226
純資産の部合計	445,765,399	459,712,346	△ 13,946,947
負債及び純資産の部合計	526,045,158	554,834,368	△ 28,789,210

社会福祉事業区分

- ・ 本部拠点区分
- ・ ケアハウス鈴懸拠点区分
- ・ 鈴懸おはようヘルプ拠点区分
- ・ グループホーム桐の花拠点区分
- ・ グループホームひまわり拠点区分
- ・ 工房とんとん拠点区分
- ・ ケアホームおひさま拠点区分

公益事業区分

- ・ ショートステイルーム拠点区分

※28年度決算書類の詳細はケアハウス鈴懸・事務所に常備してあります。ホームページ(メニュー「情報公開」)にも7～8月中には掲載する予定です。また、独立行政法人福祉医療機構(WAM-NET)及び全国社会福祉法人経営者協議会(全国経営協)のホームページに公表されます。

<http://www.tourekai.com/>

桐鈴会まつり

◆ケアハウス鈴懸◆グループホーム桐の花◆工房とんとん

◆鈴懸おはようヘルプ◆グループホームおひさま

日時 平成29年8月25日(金) 17:30~19:30

場所 ケアハウス鈴懸駐車場(雨天中止)

出し物 *お楽しみ芸能大会・よさこい踊り・子ども太鼓
・各事業所による出し物…歌あり・踊りあり

*盆踊り

屋台 *焼きそば・棒お好み焼き・フランクフルト・かき氷
冷やしうどん・おにぎり・枝豆・ポップコーン
スイカ・生ビール・ソフトドリンク・パン

*スーパーボールすくい・ストラックアウト(賞品有)

★屋台は千チケット制です(100円券・50円券)

